

友田部井淳子を語る



1995年、アルプスの一峰、アイガー頂上で「二人合わせて101歳」を祝う田部井淳子氏（左）と北村節子氏

昨年2016年10月、登山家の田部井淳子さんが亡くなりました。まだ本格的な登山をする女性が少なかった時代、それに抗うように女性だけの登山クラブで海外の山を目指し、1975年には世界最高峰エベレストに世界で初めて女性として登頂、登山史に大きな足跡を刻みました。その後も海外の高峰登山を続け、これも世界女性初となる「7大陸最高峰登頂」も果たし、継続的に後輩の育成にも尽力。さらにはメディアなどを通して「山のすばらしさ」を説いて、登山の大衆化に寄与。同時に山岳環境保全の流れも形成してきました。

近年はがんと闘いながらふるさと福島県の支援にも取り組み、「最期まで燃焼する」という高齢社会の一つのモデルも提示した感があります。数々の活動のかけのエピソードを交え、一人の主婦が世間のヒロインになるまでの本人や社会の変化を身近な友人が振り返ります。

きたむら せつこ

ゲスト ■ 北村 節子 さん

プロフィール 1949年、長野県生まれ。お茶の水女子大卒。卒業と同時に読売新聞東京本社の記者となり、主に女性のライフスタイル、労働問題、人口問題などを取材。その中でインタビューを通じて知り合った田部井淳子の率いるエベレスト日本女子登山隊に隊員参加。以後、公私両面で深く交流。7大陸ではうち4大陸に同行。他に欧州アルプスなどで多数回コンビを組んで登攀、晩年のがん治療などの様子も身近で見守ってきた。読売退職後は法務省・中央更生保護審査会委員2期6年を経て、現在、大学共同利用機関法人・高エネルギー加速器研究機構・監事。

時 ■ **6.15 (木) 13:30~15:30**

所 ■ **婦選会館** 東京都渋谷区代々木2-21-11

定員 ■ **30人** (要予約。下記主催宛、電話・FAXまたはメールでお申し込みください)

参加費 ■ **1,620円 (税込)**
本誌読者及び特別維持員は1,500円 (税込)

* 『女性展望』2017年1-2月号に北村氏の追悼文掲載

公益財団法人市川房枝記念会女性と政治センター

東京都渋谷区代々木2-21-11 婦選会館

TEL 03 (3370) 0238 FAX 03 (5388) 4633

E-mail fitikawa.moushikomi@fork.ocn.ne.jp URL www.ichikawa-fusae.or.jp